

秋の農作業安全強調月間に係る「ラジオスポット放送」について

北海道農作業安全運動推進本部

1 放送時間

令和4年9月1日～令和4年10月31日

2 放送波

NHK第ラジオ第一放送
(NHKFMの同時放送の可能性有)

3 放送時間帯

ラジオ気象情報などの枠で随時

- (1) 午前11時50分～12時00分
- (2) 午後1時55分～2時00分
- (3) 午後6時50分～7時00分

4 放送内容

北海道では、毎年、農作業中の事故が、2,200件前後発生し、このうち死亡事故が20件程度となっています。

特に、収穫の秋を迎えたこの時期は事故が発生しやすくなります。

- 事故の多くは、「作業の遅れに伴う疲れや焦り」、「慣れや気持ちの緩み」といった、ちょっとした油断や不注意が原因と考えられます。
- 安全に農作業を行うための注意点です。
機械の整備などで回転部分に手や体を近づけるときは、巻き込まれないよう、トラクターや作業機のエンジンを必ず止めてください。
収穫機への巻きこまれを防止するため、袖口が締まった服を着用し、回転部分には触れないよう、注意しましょう。
また、首に巻いたタオルは巻き込まれやすく危険です。できるだけ身につけないようにしましょう。
- 補助作業者がいる場合、作業の前に機械の発進、緊急停止などの合図を補助の人との間で決めてください。
周囲の安全を確認してから、合図をして、機械を動かすようにしましょう。
作業を始める前の「声かけ」を習慣にしましょう。
- 秋が深まるにつれ、日没が早まり、雨や霜で地面が滑りやすくなります。トラクターを運転するときはシートベルトを着用し、安全運転と早めの点灯を心がけるとともに、後続の車両にもよく目立つよう、「低速車マーク」、「反射シール」を取り付けてください。
- その日の作業予定を共有したり、緊急事態に備え、携帯電話など連絡可能な機器を身に付けておくことが、救命につながります。
日頃から家族や従業員と作業の手順などについて話し合い、事故防止の意識を高めましょう。
なお、労災保険の加入などについては、最寄りのJA、または北海道農作業安全運動推進本部におたずねください。
推進本部の電話番号は、011-232-8407です。